

平成29年5月23日

第4回文化財の多言語解説等による国際発信力強化の方策に関する有識者会議の開催について

「明日の日本を支える観光ビジョン」において掲げられた「文化財の観光資源としての開花」を実現する上で、外国人の方に日本の文化への興味を抱いていただくとともに、訪日外国人観光客に日本の文化財の魅力を十分に感じていただくため、文化財の国際発信力を強化することが重要です。このため、文化庁としては標記有識者会議を設置し、国際発信力強化の方策について必要な取組を検討することとしました。第4回会議では、有識者会議提言に向けた検討を行います。

1. 第2回会議の日時・場所

平成29年5月31日（水）10時30分～12時30分

場所 文部科学省3階3F2特別会議室

2. 趣旨・委員について

「別紙1 有識者会議の趣旨等」を御参照ください。

3. 議題

有識者会議提言に向けた検討・意見交換等

4. その他

傍聴を希望される方は5月29日（月）までに、電子メール(denbun@mext.go.jp宛て)にて、以下の事項を御記入の上お申し込みください。

なお、席に限りがありますので、傍聴を希望される方が多数の場合には、傍聴を制限させていただく場合があります。あらかじめ御了承ください。

(1) 氏名 (2) 所属 (3) 連絡先（電話番号、メールアドレス）

(4) 撮影、録画又は録音希望の有無

<担当>

文化庁 文化財部 伝統文化課

菅野, 大村

電話：03-5253-4111（内線2864）

FAX：03-6734-3820

文化財の多言語解説等による国際発信力強化の方策
に関する有識者会議の設置について

1. 趣旨

「明日の日本を支える観光ビジョン」及び2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催等を踏まえ、我が国の歴史・文化の魅力を訪日外国人観光客に感じていただけるよう、文化財の国際発信力を強化することが必要であると考えられる。このため、本年7月に取りまとめた「文化財の英語解説のあり方について」も踏まえて、全国各地の文化財の多言語解説整備を更に加速するための方策や文化財の国際発信力強化に必要な取組を検討する。

2. 検討事項

- (1) 文化財の国際発信の強化方策について（文化財の多言語表記の在り方を含む）
- (2) 文化財解説の多言語化を促進するための支援方策について
- (3) その他

3. 検討方法

- (1) ヒアリング
 - 優良事例の実践者
 - 文化財所有者
 - 観光関係者
 - ICT関係者 等
- (2) 文化庁等行政説明及びこれに基づく議論

4. 組織

別紙2のとおり

5. 検討期間

平成29年2月～平成29年7月

6. 庶務

文化庁文化財部伝統文化課

文化財の多言語解説等による国際発信力強化の方策

に関する有識者会議 委員

(五十音順, 敬称略)

岩橋 克二	神社本庁 教化広報センター 広報国際課長
落合 偉洲	全国国宝重要文化財所有者連盟 理事長 久能山東照宮代表役員
亀井 伸雄	文化審議会文化財分科会会長, 東京文化財研究所所長
デーヴィッド・アトキンソン	小西美術工藝社 代表取締役社長
野田 博明	全日本社寺観光連盟 理事
マリサ・リンネ	京都国立博物館 フェロー国際交流担当
◎山本 健慈	一般社団法人 国立大学協会専務理事, 和歌山大学前学長
外川 奨	金沢市文化スポーツ局文化財保護課長

【オブザーバー】

観光庁観光資源課長 蔵持京治
観光庁国際観光課長 田中由紀
独立行政法人日本政府観光局理事 吉田晶子
東京都教育委員会地域教育支援部管理課課長代理 原眞麻子

その他, 文化財部調査官数名

※ ◎は座長